

SPAC 秋→春のシーズン 2019-2020 #2

パール・ギェントたち ～わくらばの夢～ Peer Gynts - Asylum's Dreams

原作：ヘンリック・イブセン

訳：毛利三彌

上演台本・演出：ユディ・タジュディン(インドネシア)

共同創作：

ウゴラン・プラサド(ドラマトゥルク、インドネシア)

川口隆夫(パフォーマー/ダンサー/振付家、日本)

ヴェヌーリ・ペレラ(振付家/ダンサー、スリランカ)

美加理(俳優[SPAC]、日本)

ムハマッド・ヌル・コマルディン(俳優/ダンサー、インドネシア)

森永泰弘(サウンドアーティスト/作曲家、日本)

グエン・マン・フン(ヴィジュアル・アーティスト、ベトナム)

アルシタ・イスワルダニ(俳優/パフォーマー、インドネシア)

グナワン・マルヤント(俳優/作家、インドネシア)

大内米治、佐藤ゆず、館野百代、牧山祐大

宮城嶋遙加、若宮羊市(以上、俳優[SPAC]、日本)

日時

一般公演

11月9日(土)、10日(日)、16日(土)、17日(日)

各日 14:00 開演 [日本語/英語字幕]

中高生鑑賞事業「SPACeSHIP げきとも！」公演

SPAC では静岡県内中高生を対象に招待公演を行っています。

★の日程は一般発売のお席もございます。(枚数限定)

11月5日(火)13:30、8日(金)13:30、11日(月)13:30★

14日(木)13:30★/18:00★、15日(金)13:30★、18日(月)13:30★

19日(火)13:30★

会場 静岡芸術劇場



●公演についてのお問い合わせならびに取材のご希望は「SPAC-静岡県舞台芸術センター 広報：計見」までお願いいたします。

静岡芸術劇場 Tel:054-203-5730/Fax:054-203-5732/E-mail:keimi@spac.or.jp

『パール・ギェント』が映し出す、アジアの今

～4か国のアーティストが集う、国際共同プロジェクト～
ノルウェーの劇作家ヘンリック・イブセンの代表作『パール・ギェント』は、自由を求めて故郷を飛び出し世界を巡る主人公の一生が描かれ、世界中で上演され続けています。

インドネシアを代表する演出家ユディ・タジュディンは、旅を続けるペールの姿に、グローバル化が進む一方で様々な国際問題に直面し、「恐れ」や「不安」を抱く現代アジアの姿を重ね、アジア 4 か国(インドネシア、スリランカ、ベトナム、日本)のアーティストとの国際共同プロジェクト <Multitude of Peer Gynts (多様なパール・ギェントたち)> を立ち上げました。

彼らは滞在制作という形で実際に旅をし、滞在先の社会的・文化的背景も作品に盛り込んでいます。これまでにインドネシアと東京で、制作やワークインプログレスの発表が行われ、そして11月、静岡にて『パール・ギェントたち～わくらばの夢～』として初演を迎えます。

アジアから世界を見つめ直す、アイデンティティを巡る旅

本プロジェクトの出発点となったのは、インドネシア・フローレス島にある、植民地時代の影響が色濃く残る町ララントウカ。タジュディンは、外来の宗教や政治と、伝統的な信仰や文化とが交錯するこの町の有りようが、複雑化する現代において世界に共通するものだと考えました。

今年 6～7 月、プロジェクトの主要メンバーがララントウカに 2 週間滞在。現地の歴史や文化、地域の人々に触れたほか、各アーティストが住む国や地域が抱える社会問題や、それぞれの個人的な体験などが共有されました。その後、9 月に行われた東京での滞在制作を経て、静岡では SPAC の俳優 6 名が創作に加わっています。

2019 年 4 月に同時多発テロが発生したスリランカの情勢や、インドネシアの俳優が語るイスラム教に関する思考など、共同創作アーティストによる「生」の言葉をイブセンの原作テキストと交差させ、現代アジアの視点で『パール・ギェント』を読み解く本作。静岡の地で SPAC 俳優との創作を経て、日本の観客の目に、どのような「アジア」の姿を映し出すのでしょうか。

演出家ノートより(抜粋) ユディ・タジュディン

今の世界をどうやって理解したらよいのか。とりわけ誰も知らないアジアの片隅にいるプレカリアート(不安定な非正規雇用の労働者)の視点から、どうやって世界を理解すべきなのか。

今日、いよいよややこしく、いよいよつながった世界では、新たな種類の恐怖と不安が高まっている。

この戯曲は、不安で落ち着きのない世界をグローバルに移動し、国境を越え、さまよい、わざと道に迷うための度胸をつける戦略マニュアルとして読むことができるだろう。

さまざまなアジアの片隅から、縮みながらも分断されつつある世界を眺めてみると、『パール・ギェント』は旅をし、たえまなく求めつづけ、問いつづけ、国際政治の内幕を暴露し、線が引かれてしまった世界地図の線をかき消すよう、私たちに勇気づけてくれているように見える。『パール・ギェント』は従来とは異なる世界地図の必要性を訴えているようだ。このプロジェクトでは、その呼び声の源を探求してみたい。

■原作あらすじ

自由奔放なパール・ギェントは、母オーセと暮らしている。日頃から大口を叩き、世間からは変わり者扱いのパールは、「皇帝になる！」と言って村を飛び出す。途中、トルロの一族と出会い、王ドヴレの娘と結婚寸前まで行くが、逃げ出してしまう。その後、移住民の娘ソールヴェイと恋に落ちるが、パールは再び旅へと出かける。

モロッコの西海岸、エジプト・カイロの精神病院へと旅は続き、やがて年老いたパールは、故郷へと戻りボタン職人と出会う。自分が行ってきたことを、ボタン職人に証明しようとするが、誰も証人になってくれない。そして、パールは自身の帰りを待ち続けたソールヴェイの子守唄に包まれながら最期を迎える。

■演出家プロフィール

ユディ・タジュディン Yudi Ahmad Tajudin



演出家。ジョグジャカルタを拠点とするインドネシア屈指の芸術家集団、テアトル・ガラシ/ガラシ・パフォーマンス研究所(2013年蘭プリンス・クラウス賞受賞)の創業者の一人で芸術監督。2011年から12年にかけてACC(アジア・カルチュラル・カウンスル)のフェローシップとしてニューヨークにて学び、インドネシア文化省 Art Award 2014を受賞。演劇、ダンス、ビジュアル・アート、音楽など分野を横断したプロジェクトを手掛け、インドネシアの演劇シーンを牽引する演出家として知られる。その作品は国際的に上演されており、SPACをはじめ北村明子など日本のアーティストとのコラボレーションも多数行なう。SPAC「Shizuoka 春の芸術祭 2010」で、テアトル・ガラシの代表作『南十字☆路』を上演、2013年・16年には、SPACとの共同制作による『サーカス物語』を演出した。

演劇、ダンス、ビジュアル・アート、音楽など分野を横断したプロジェクトを手掛け、インドネシアの演劇シーンを牽引する演出家として知られる。その作品は国際的に上演されており、SPACをはじめ北村明子など日本のアーティストとのコラボレーションも多数行なう。SPAC「Shizuoka 春の芸術祭 2010」で、テアトル・ガラシの代表作『南十字☆路』を上演、2013年・16年には、SPACとの共同制作による『サーカス物語』を演出した。

チケット 好評発売中!

<全席指定>

一般:4,200円

ペア割引:3,700円(2名様で1枚につき)

ゆうゆう割引:3,500円[満60歳以上]

学生割引:2,000円[大学生・専門学校生]/1,000円[高校生以下]

※その他、グループ割引、障がい者割引がございます。

チケットお取扱い

SPAC チケットセンター

TEL:054-202-3399(10:00~18:00)

公式サイト、劇場窓口でもご購入いただけます。

お問い合わせ

SPAC-静岡県舞台芸術センター

〒422-8019 静岡市駿河区東静岡 2丁目 3-1

TEL:054-203-5730 FAX:054-203-5732

E-mail:mail@spac.or.jp

SPAC 公式サイト <https://www.spac.or.jp>

●公演についてのお問い合わせならびに取材のご希望は

「SPAC-静岡県舞台芸術センター 広報：計見」までお願いいたします。

静岡芸術劇場 Tel:054-203-5730/Fax:054-203-5732/E-mail:keimi@spac.or.jp

【観劇バス】

静岡芸術劇場までの往復バスを運行いたします。

◆東京バス [片道 1,000円]

11月9日(土) [往路] 渋谷発 9:30 → 劇場着 13:00

◆浜松バス [片道 500円]

11月10日(日) [往路] 浜松発 11:30 → 劇場着 13:00

申込締切:11月6日(水)

申込先:名鉄観光サービス(株)静岡支店

TEL.054-286-5681 (平日 9:30~17:30)

【会期中のイベント】

◆プレトーク 一般公演日の開演 25分前より

舞台をよりおもしろく観劇できるポイントをご紹介します。

◆はじめての演劇鑑賞講座 11月10日(日) 12:30~13:30

講師:永井健二(SPAC俳優)[参加無料/要予約、定員20名]

◆アーティストトーク

終演後、演出家および共同創作アーティストによるトークを開催いたします。

11月9日(土)

ユディ・タジュディン(演出)

ウゴラン・プラサド(ドラマトゥルグ)

川口隆夫(パフォーマー/ダンサー/振付家)

森永泰弘(サウンドアーティスト/作曲家)

<司会>宮城聡(SPAC芸術総監督)

11月10日(日)

ユディ・タジュディン(演出)

ウゴラン・プラサド(ドラマトゥルグ)

ヴェヌーリ・ペレラ(振付家/ダンサー)

美加理(俳優[SPAC])

<司会>大岡淳(SPAC文芸部)

◆バックステージツアー

終演後、創作・技術部スタッフが舞台裏をご案内します。

(参加無料/要予約、定員40名) ※所要時間:約30分

11月16日(土)、17日(日)

演出家ユディ・タジュディンによる 演劇ワークショップ

11月12日(火)19:00~21:00

会場:静岡市番町市民活動センター(大会議室)

対象:中学生以上 定員:20名 参加費無料(要申込)

後援:静岡市番町市民活動センター

◎各イベントお申し込み先

SPAC チケットセンター TEL:054-202-3399

主催・製作:SPAC-静岡県舞台芸術センター

共同制作:テアトル・ガラシ/ガラシ・パフォーマンス研究所

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

| 独立行政法人日本芸術文化振興会、一般財団法人地域創造

ふじのくに芸術回廊 | ふじのくに芸術祭共催事業

<Multitude of Peer Gynts プロジェクトに対し>

助成:国際交流基金アジアセンター、インドネシア創造経済庁(BEKRAF)、

公益財団法人セゾン文化財団

協力:東フローレス市役所

2019年度イブセン・スカラシップ受賞プロジェクト